

「群れ」と「集団」

校長 岩淵 浩憲

充実した夏休みを過ごすことができたでしょうか。こうして大きな事故やケガもなく、皆さんの元気な顔がそろって2学期をスタートできることを、何よりも嬉しく思います。

さて、今日から始まる2学期は、体育大会や新成祭、合唱祭など、学校全体で取り組む大きな行事がたくさん控えています。クラスや学年で力を合わせる場面が、1学期よりも格段に増える季節です。

そこで、この2学期の始まりにあたり、皆さんに考えてほしい「二つの言葉」があります。それは、「群れ」と「集団」という言葉です。

どちらもたくさんの人が集まっている様子を表す言葉ですが、その中身には決定的な違いがあります。

「群れ」と「集団」の違いとは？まず「群れ」です。動物をイメージしてみてください。ただなんとなく同じ場所に集まっているだけの状態、これが「群れ」です。そこには、共通の目標もなければ、お互いを深く思いやる関係ありません。誰かが右へ走れば、なんとなく自分も右へ走る。居心地は良いかもしれませんが、お互いを成長させる力はありません。

一方で、「集団」はどうでしょうか。「集団」とは、『共通の目的や目標を持ち、その達成のために一人一人が自分の役割を果たし、協力し合っている集まり』のことです。例えば、クラスの誰かが困っていたら声をかける、行事を成功させるために自分の仕事を責任持ってやり遂げる。時には意見がぶつかることがあっても、「より良いクラスにしたい」という共通の目標に向かって話し合い、絆を深めていく。これが「集団」の姿です。

4月にスタートした今のクラスは、最初はただ同じ部屋に集められた「群れ」に近い状態だったかもしれません。しかし、1学期の生活を経て、少しずつお互いを知り、今まさに「集団」へと生まれ変わろうとしている途中です。

この2学期、たくさんの行事や日々の授業を通じて、皆さんにはただの「群れ」ではなく、本物の「集団」へと成長して欲しいと願っています。

そのために意識してほしいことです。

- 一人ひとりが自分の役割に責任を持つこと
- 周りの仲間に関心を持ち、認め合い、支え合うこと(もっと「いいね」をしていきましょう)
- 「こんなクラスにしたい」という目標に向かって、全員で一歩を踏み出すこと

これらを意識して過ごしてみてください。

行事が終わったとき、「このクラスで本当によかった」「私たちは素晴らしい集団になった」と、全員が胸を張って言えるような、実り多き2学期にしていきたい。皆さんの活躍を楽しみにしています。

学期の振り返りと、2学期に目指したい姿

2学年代表生徒

夏休みが終わり、今日からたくさんの行事がある2学期が始まります。皆さんは、充実した、有意義な夏休みを過ごすことができましたか。私は2年生になり、1学期や夏休みを納得のいく成長できる時間として過ごすことができたと感じています。1学期は1年生の時よりも挑戦できる機会を大切に、宿泊学習では自分のやるべきことを明確にして活動ができました。学年では、日常的に感謝の言葉を伝えることができたり、お互いの個性を認め合うことができていたりするなど私達の良さを昨年よりも高めあえている反面、宿泊学習を機に仲が深まったことが悪い方向に表れて、切り替えや時間意識ができていないなどの課題が見られます。どの学級、学年にもこのような課題はあると思います。これは、人任せにするのではなく、どうすれば解決できるのかを各々が考え、行動に移すことで解決できるものだと思います。2学期は、私自身が行動に移すことを大切に、少しずつ周りに広めていき、最終的には学年全員で課題解決に向かって生活できたらいいなと思います。私は、ここで私が呼びかけただけで全体がすぐに変わるとは思いません。それでも、ここにいる皆さんがこの話を聞いて少しでも行動に移してくれたら、少しでも変わろうと思ってくれたら、それは学校全体が良い方向に向かっていくことと同じだと思っています。私は、新琴似中学校は「イイね！」があふれる素晴らしい学校だと感じます。なので、新琴似中学校の良いところをもっとのびし、課題だと思うところはひとりひとりが解決のために行動に移す、そしてみんなが良い活動をフォローしていく。そうやって、学校全体がよい方向に向かっていく2学期にしたいです。



教育実習生受け入れの報告

始業式より、本校において、教育実習が始まりました。札幌国際大学スポーツ指導学科より1名が3週間教育実習生として来校しています。教科は保健体育で、学級は2年1組に配属されます。